

総務渉外委員会 事業計画

総務渉外委員会 委員長 高崎 拓哉

人と人との距離が遠のき、人間関係が希薄になってきている今、諸先輩方がひととして大切な教えを繋いでこられた伝統や誇りある団体として、これからもより一層成長できる環境や交流の機会を作り出していくことが求められています。一人ひとりが継承された規律や教えを理解し思いやりをもちながら、ガバナンスの効いた常に質の高い環境で能力を高められる組織運営や参加意欲と団結力を深め、運動をより活性化させることが必要です。

まずは、より信頼され尊敬される組織となるために、暗黙知を明文化するとともに明確な資料の作成や上程ルールを周知し、時間厳守及び報連相を留意し徹底することで、規律遵守の意識が高まりガバナンス強化による厳格な組織運営へ繋がります。そして、最高意思決定機関である総会において自らの議決権を適正に行行使するために、これまでの活動報告や総会の重要性と参加が責務であることを伝え、全メンバーにて意志を共有し決定することで、組織の一員である自覚をもった意義のある厳格な総会となります。さらに、歴史や伝統ある団体としての存在価値や信頼性を向上していくために、臨時総会にて新たな決意の発信や我々の魅力と方向性を伝えることで、行政や関係諸団体とより強固な関係となり信頼された組織となります。また、姉妹LOMである嘉義国際青年商會と更なる絆を築き出向者が活発に活動できるために、国際会議や互いの都市において対面での交流を深め、国際交流の機会提供及び諸大会での出向者支援活動を行い出向者とメンバーの気持ちを共有することで、国際的な視野を持つ能動的な人材育成や組織の団結力向上に繋がります。

より一層ガバナンスが強化され、統一意識のもと積極性と一体感が生まれた我々の厳格な組織は、より多くの地域住民から信頼され運動や思いが地域に伝播されていき、ひとの心を動かす唯一無二の団体として、変革の起点となる存在感ある魅力的な団体となります。

<事業計画>

1. ガバナンス強化による厳格な組織の運営
2. 厳粛な総会の開催
3. 存在感ある魅力的な団体の発信
4. 嘉義国際青年商會との交流及び出向者支援